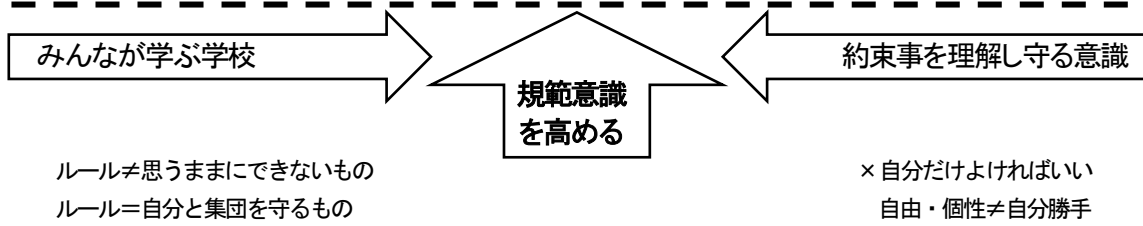


豊明中学校「生活の心得」

『中学校3年間で伸ばしてほしい3つの力』

- 基本的な生活習慣を身につけ、地域社会の一員として正しく判断し、行動できる力
- 互いに尊重しあい、みんなが安心して、気持ちよく生活できるようにする、人を思いやる力
- 集団の一員であることを自覚して、集団の中で自分の役割を果たす力



温かく、優しい雰囲気の漂う、素晴らしい学校をつくり上げよう

1 熱心に学習し、積極的に活動に参加しよう

- ① 授業の始めと終わりのあいさつをきちんと行う。
- ② 授業開始に間に合うように自分の席でチャイムを聞く。
- ③ 給食（準備も含める）・清掃・STも授業と同じである。
- ④ 正しい態度と姿勢で、落ち着いて学習する。
- ⑤ 保健室などでの休養は原則として1日1時間とし、回復しない（授業に出られなかった）場合は早退する。保健室を利用する場合は原則教員が付き添うようにする。

2 放課の過ごし方に気をつけよう

- ① 教室や廊下では暴れない。室内でボール等を使用しない。
- ② 貸し出されたボールは運動場でのみ使用を許可する。（貸し出されるボール以外使用不可）
- ③ 駐車場等、危険な所では遊ばない。
- ④ 他の教室に入らない
- ⑤ 特別教室への移動はゆとりをもって行う。

3 身だしなみに気をつけ、落ち着いた学校生活を送ろう

服装や頭髪などは、常に自分の様子を振り返り、点検のために間に合わせるのではなく、毎日心がけていくこと

【服装について】

授業日 登校・・・制服または体操服 下校・・・制服や体操服 部活動の服装
部活動のみの日は、各部の服装で登下校してよい。

○衣替えの移行期間は特に設けない。気温に応じて、着こなしを考える。

① 冬服

ア ブレザー学生服(男女共通モデル)

- ・ ジャケットは白のカッターシャツの上に着用するものとする。
- ・ カッターシャツの中に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。
- ・ ネクタイは常時着用しなくてもよいが、行事や朝礼時などは必ず着用する。

イ 詰襟学生服

- ・ 裏地は派手でないので、襟には白色のカラーを付ける。（最初から白い色で縫いつけてある商品があるがそれでもよい）
- ・ 制服は、白色のカッターシャツの上に着用する。
- ・ カッターシャツの中に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。

ウ セーラー服

- ・ 上着の文は、両手を横にあげて中着が見えない程度とする。
- ・ リボン黒で巾10cm程度で結ぶ。
- ・ 中に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。
- ・ 袖のホックをきちんとしめる。

② 夏服

ア 学校指定の水色ポロシャツ(男女共通モデル)

- ・ ポロシャツはズボンに入れなくてもよい。
- ・ ポロシャツの下に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。

イ 豊中の校章入りの白色開襟シャツ

- ・ シャツをズボンにきちんと入れる。
- ・ 開襟シャツの中に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。

ウ 学校で指定された白の半袖セーラー服

- ・ 着方は冬服と同様とする。
- ・ 中に着る肌着は、白・ベージュ・黒・紺などの落ち着いた色を基調としたものとする。

③ ズボン・スカートについて … 上下の組み合わせが合うように着用する。

ア ズボン(指定の黒色学生服・ブレザー)

- ・ ベルトは黒色で派手でないものとする。
- ・ 裾をひきずらない。

イ スカート(指定のセーラー服・ブレザー)

- ・ スカートの丈は、膝が隠れる程度とする

※ズボン丈やスカート丈が短くなった場合は基準に合うように購入したり裾直しをしたりする。

【防寒具について】

- ・ 校舎内(内着)…寒いときには黒・灰・紺・白・ベージュの落ち着いた色を基調としたセーター・ベスト・カーディガンをシャツの上に着用してよい。フード付きのものは不可。
- ・ 登下校時(外着)…特に上着の種類は問わない(ウインドブレーカー・コート・パーカーなど)、色は黒・灰・紺・白・ベージュなど落ち着いた色を基調とするもの。(模様やワンポイントは可)校舎内では着用せず、登校後は教室で脱ぎ、ロッカーにしまう。
- ・ 学生服の裾や袖から中着が見えてしまうような長いものは避ける。
- ・ 体育で使用するジャージは、制服の下に着用しない。
- ・ 手袋やマフラー、ネックウォーマー、ひざ掛けは使用してもよい。
- ・ ストッキングやタイツをはく場合は、黒・灰・紺・ベージュなどの落ち着いた色を基調としたものとする。

【頭髪等について】 中学生として、学習や運動をするのにふさわしい清潔感のある髪型にする。

- ・ 自然とならない髪型にしない。(パーマなど)縮毛矯正をする場合は教員に相談する。
- ・ 常に髪をまとめる必要はないが、必要になった際にいつでもまとめられるよう、ヘアゴムを準備しておく。色は黒・紺・ベージュなどの落ち着いたもの。結ぶ際におしゃれを意図した髪型にしない。(編み込みなど)
- ・ 整髪料を使用しない。脱色や毛染めをしない。
- ・ まゆげについて、必要以上に抜いたり細くしたりしない。

【名札について】 名札は、左胸のポケットの位置にクリップでとめる。

【靴について】 通学用の靴は男女共に華美ではない運動靴。

【靴下について】 男女共に白・黒・紺・グレー(ワンポイント可)とし、くるぶしが完全に隠れる長さとする。短ソックスをはかない。

女子が冬期にストッキング・タイツをはく場合、黒・紺・灰・茶・ベージュとする。

【持ち物について】

- ・ 持ち物には記名をする。(特に靴、スリッパ、体育館シューズ、傘)
- ・ タオルは時と場合を考えて使用する。(首に掛けない、朝礼などに持っていくなど)
- ・ 学校生活に必要な物は持ってこない。(携帯電話、スマホ、トランプ、プリクラシール、まんが本など)
- ・ 身だしなみを整えるための「くし」の使用は、時と場合また携帯する場所を考えて使う。「くし」を胸ポケットに入れると危険なので、カバン等に入れておく)
- ・ リップクリーム、ハンドクリームについては、「薬用」と表記があり、無着色・無香料のものとする。
- ・ 制汗シートや日焼け止めについては、時期を考えて使用する。(スプレータイプ、香料がついているものは不可)
- ・ 非常の際の電話は職員室北側の公衆電話を利用する。
- ・ 学用品は学校指定のスリーウェイバッグに入れ、その他の物は補助バッグ(ナップ)に入れて登下校する。(行事等で教科の授業がない場合や生徒指導部の先生から、「ナップ登校可」の指示がでたときは、その限りではない)紙袋やビニールバッグは使用しない。
- ・ 部活動で許可されるバッグは、ナップの補助で使用する。

4 安全に登下校する

- ① 特に指示がない限りは、7:50~8:10の間に登校する。8:20のチャイムで入室できない場合は遅刻となる。
- ② 下校時刻を守り、出来る限り集団での登下校を心がける。
- ③ 部活動や委員会等の用事がない場合は、速やかに下校する。
- ④ 不審な人物や身の危険を感じたら自分の命を守ることを優先する。
(身の危険を感じたら、まずは助けを求める。次に110番通報・学校へ連絡。)
- ⑤ 交通ルールを守って登下校する。
 - ・ 自転車に乗るときにはヘルメットをかぶり、自分の命を守る。
 - ・ 校内では自転車は引いて歩く。
 - ・ 平常の登下校での自転車通学はそれを許可された者だけとし、それを違反して自転車の放置等で地域の方に迷惑をかけない。
 - ・ 土日・祝日などの部活動の登下校の際には、自転車での登下校は可とし、部活動で決められた場所に駐輪する。
- ⑥ 下校中は、交通ルールを守り、寄り道をせずに帰宅する。
 - ・ 下校後も、地域の一員としてのマナーを守って生活する。